



第 113 号



「富里地域ふるさと協議会」は、JR 柏駅から南柏駅に位置する 7 つの町会で構成されています。近隣センターを拠点に、町会の垣根を越えて、福祉活動や地域住民の交流を図り、住みよい生活環境づくりをめざして活動しています。

発行：富里地域ふるさと協議会・富里地区社協
http://www.fk-tomisato.net/

編集・制作：広報部 koho@fk-tomisato.net
お問合せ：TEL 04-7173-9531(富里近隣センター)

富里地域防災マップ

マップに記載の は、24 時間利用可能な「AED」設置個所です

ロソン柏泉町店
旭東小学校
旭小学校

旭町近隣センター
富里近隣センター

サンクス柏富里店
豊町西町会 防災倉庫 豊町第 3 公園

豊町ふるさと会館
セブンイレブン南柏豊四季店
豊小学校
豊町東町会 防災倉庫 低見台子供の遊び場

地域防災拠点
町会防災拠点
広域避難場所
指定避難場所
防災備蓄倉庫
耐震性(井戸付)貯水槽
防災用簡易井戸

ファミリーマート 柏中央一丁目店
朝日会館
柏市東部消防署
栄町集会所
富里ふるさと会館
セコム株式会社 柏統括支社
第三小学校
緑ヶ丘会館
日立台公園

通一丁目町会
栄町町会
富里町会
豊町西町会
豊町東町会
緑ヶ丘町会

柏駅
南柏駅
新柏駅

ご家庭で、“水道水の汲み置き”を習慣に

- ◆ ぐみ置きの量は： 1 人 1 日 3 リットル×3 日分、が目安です。ペットボトルやポリタンク等に、いっぱい水道水を入れ、密閉します
- ◆ 保存期間は：冷暗所で 3 日間・冷蔵庫で 1 週間が目安です

※ [柏市水道部ホームページ] より抜粋

[富里地域防災マップ]の詳細は、ふるさと協議会のホームページで、ご覧ください。

各町会内の「AED」設置場所 (利用時間の制限有)

もしもの時のために、お近くの「AED」(自動体外式除細動器)設置建物の確認をしましょう！！

- 通一丁目町会**
柏第三小学校
東口よしだクリニック
KTC中央高等学院、他
- 富里町会**
富里近隣センター
ヤオコー柏若葉町店、他
- (注意：利用可能時間は、学校・保育園は開校・開園の時間内、銀行・医院・店舗は営業時間内)

- 栄町町会**
千葉銀行柏支店
京葉銀行柏支店
マツモトキヨシ柏店、他
- 緑ヶ丘町会**
福本クリニック
須田医院、他

- 豊町西町会**
イオン柏店
コンフォール南柏、他
- 豊町東町会**
豊小学校
豊町保育園
ウエルシア南柏店、他

「富里地域」夏のイベント

通一丁目町会 7月19・20日



香取神社での神事のあと、子供御輿が町内を練り歩きました。街の人達から拍手を受けて、暑さに負けない元気をみせてくれました。

「おみこしは疲れたけど、休憩所のアイスやお菓子がおいしかったです」
新田千智さん



栄町町会 8月3・4日

栄町町会では、2日間好天に恵まれ、手づくりのやぐら組みの作業も順調に進みました。町会外からもたくさんの子供が訪れ、花火や踊りを楽しんでいました。



「盆踊り大会でいちばん楽しいのは花火です。『妖怪ウォッチ』の曲



に合わせて踊るのも大好き」

佐藤花鈴さん(小4)
石黒日菜さん(小4)
石黒歩さん(小1)

緑ヶ丘町会 8月8・9日

町会 60 周年記念式典もプログラムに入ったまつりでした。子供の太鼓、本格的な「呼魂太鼓」の勇壮な演技や、子供らの踊り「じゃんめい」などがにぎやかに行われました。



「子供会の友達と太鼓をたたくのが最高。おまつりは、夏休みの大きな楽しみです」

藤林華月さん(小6)
戸栗彩華さん(小6)



豊町東町会 8月21・22日

豊小学校の校庭で行われた、スケールの大きいまつり。町会御輿の町内のお練りも復活し、豊小児童による金管楽器の演奏や「Dreaming Girls」のダンスなどが、彩りをそえていました。

「豊小の校庭は広く、お友達がたくさん来て会えるのが楽しい。屋台や遊びのコーナーがいっぱいで、いつもの学校とちがう魅力です」

竹島美結さん(小6)
篠寄結衣さん(小6)



雨にたたられた町会も



富里町会 7月28・29日

初日も途中から雨、2日目はセンターの裏庭がぬかるんで盆踊りは中止となり、駐車場で、柏踊りなどの音楽を聴くだけの祭りとなりました。

「おまつりでは太鼓を思い切りたたきます。自分でたたくと体に響くような感じがたまらなくいい。それと放送係を引き受けて盛り上げています」

吉田慎之助君(小5)



豊町西町会 8月30日

スケールは小さくても楽しさが詰まっていると好評の第3公園でのおまつりは、雨のため残念ながら中止となりました。

「ヨーヨー釣りなど遊びも面白いけど、一番の楽しみは抽選会。テレビ、自転車などの特賞がすごい！ことしは残念だったけど、来年もいい賞品をお願いします」

石井大裕君(小5)
白木結太君(小5)
平岡倅太郎君(小5)



柏まつり 7月25・26日

豊町東町会 は、オープニングパレードに花自動車に参加しました。町会成年部の人たちが手づくりで仕上げた花自動車に子供会の子らが乗り込み、猛暑にも負けない”元気太鼓”の音をひびかせていました。



富里町会の子供みこしは子供 60 数名、保護者を含めて百数十名が参加し、暑さにも負けず最後まで

で頑張りました。当日は真夏日にかかわらず駅前通りは人の波で一杯でした。

「幼稚園の頃から「おみこし」に参加したかっ



たので、嬉しくて楽しく最後まで杖を持って頑張って先頭を歩きました。」

倉持梨帆さん



町会で防災訓練！

安否確認の訓練（6月21日）

「コンフォール南柏」（豊町西町会）では、災害時には154世帯のマンション全体で「高齢者などの安否確認を」という助け合いの組織を持っています。震度5の地震が発生したという想定で訓練を行い、支援を必要とする14名の自宅を、安否確認を引き受けた人で構成するコンフォール救援隊の29名がそれぞれ訪ねて安否を確認。この訓練も今回で6回目



となり、「訓練やその後のミーティングなどを通じて居住者のコミュニケーションがより広がっています。」と隊長の岡部さんは話しています。

防災図上訓練（6月27日）

豊町東町会がふるさと会館で防災図上訓練を実施しました。住民約40人が参加し、1~4区のブロックに分かれ、テーブル上に広げた地図に危険な場所や川、池、細い道路、避難場所、医療



施設や医薬品、食料品を扱う店など、災害時に問題の個所や必要な個所を表示。続いて「60代夫婦が倒れた家の下敷きとなり、夫は足を骨折して動けない。どう救助するか」という想定問題について、各ブロックが地図を参考に救助法を話し合って発表。「まず、けが人を避難場所の豊小へ運び医師を待つ」など、さまざまな救助対策が発表されました。この演習、自分の住む町を見直し、知ることで災害時の共助に力を発揮しそうです。

世界遺産の富岡製糸場へ（7月9日、10日）

今年は1泊研修

ふるさと協議会の研修旅行は、柏市の福祉バスを利用して、日帰りとし1泊を年替わりで行います。今年は世界遺産に登録された富岡製糸場を中心に群馬県の各地を訪れました。

1日目は、時折雨に降られながら、群馬県水上市の「たくみの里」で昼食をとり、高崎観音を観光して「舌切雀のお宿」で有名な碓部ガーデンに荷を下ろしました。全室から碓氷川を見渡すことができ、妙高を望む素晴らしい景観の宿でした。翌日の製糸場視察の後は、碓氷峠に掛かる通称「めがね橋」碓氷第2橋梁を観光して近隣センターに帰りました。



富岡製糸場

明治の初め、近代化を進める日本政府が輸出品の要であった生糸の品質改善と量産を可能とするために作った工場、昨年6月



世界遺産に指定されています。

明治5年の創業開始以来、昭和62年まで115年間も操業を続け、操業停止後も現在までほとんど旧状を変えずに建造物が保存されています。そのひとつ「東繭倉庫」は木で骨組みを造り、柱の間にレンガを積み上げて壁を造る「木骨レンガ造り」という工法で造られました。セメントのなかった当時、目地には漆喰が使われています。その頑丈さは、東日本大震災の際も屋根かわら1枚落ちなかったほど。

約53,700㎡という広大な敷地には「西繭倉庫」、「操糸場」、「女工館」、建設を指導したフランス人技師ポール・ブリュナが



家族と住んだ「ブリュナ館」などの建物を見ることができました。女工として15~25歳の女性が募集され、この工場ですべて技術を習得後は、日本各地の製糸工場ですべて活躍したことが、当時の



女工の日常を記した『富岡日記』に回想録を寄せた横田（旧姓和田）英の手記によって明らかにされています。明治初期の日本の女性の活躍は、意外な発見でした。日本近代化の幕開けとなった遺産を身近に体験できた貴重な研修でした。

薬膳料理講習会（7月14日）

身近な食材を組み合わせ、健康維持に役立たせようという「薬膳料理」の講習会が、近隣センターで開かれました。29名が参加し、西部光美先生の指導で、ビタミンEやたんぱく質に富む松の実などを使った「松の実ごはん」、体を温めるといふ手羽先を主にした「手羽先ときゅうりのはちみつ焼き」、ビタミンA、Bの豊富な「チンゲン菜のスープ」など5品目を作りました。

参加した人たちは「食材の効能をよく知り、それらを組み合わせる調理することの大切さがわかりました」と話していました。

きれいな街は空き巣も敬遠 -防犯協会支部が「防犯診断」-

柏市防犯協会富里支部(鴻巣光毅支部長、7町会で構成)では、地域の防犯意識を高め犯罪の少ない町にしようと、9月12日、緑ヶ丘町会を対象に「防犯診断」を実施しました。



鴻巣支部長はじめ、同町会の防犯や見守り活動のメンバー、富里町会、豊町東町会の町会長など21名が参加。アドバイザーは、柏市防災安全課副



参事の田村栄喜さんら、同課の職員3名。田村さんを先頭に町会を巡り、実際の光景を見ながらひとつひとつの、防犯上の問題点や改善策を解説してもらう”体験学習”です。

まず指摘されたのは、

- ① 窓のあけっぱなし
- ② 敷地内の自転車の無施錠
- ③ 木の枝が茂りすぎたり、生け垣が高くして死角を作ったりしている

など。玄関を施錠しても、窓があいていれば簡単に侵入を許します。自転車は逃走用に使われ、自転車盗の多いところは犯罪発生率



も高いそうです。木の枝などで家をおおわれると、空き巣にとっても絶好の隠れみのに。一方、田村さんらが感心したのは、緑ヶ丘の街並みのきれいさ。路上に車や自転車の放置がほとんどなく、ゴミの集積場所もほとんどが出し忘れの袋もなく清潔。こうした街並みは、泥棒のもっとも嫌うところ。さらに



見知らぬ人にも挨拶するという”声かけ”があれば、防犯度もなおアップするそうです。1時間あまりのパトロールでしたが、実際の街並みを見ながらの学習は「生きた知識が身に

つきました」と参加した人たちもうなずいていました。

田村さんは「柏駅に近い住宅街ですが、予想以上にきれいな街並みで、泥棒が入りたくない街、という印象でした。90点はつけられます。自転車の施錠を徹底するなどして、もっともって防犯力を高めてください」と講評。

防犯協会支部では、規模や特色がそれぞれ異なる他の6町会を対象に、これからも街の「防犯診断」を行うことにしています。



今年 80 歳になられた方に (9月15日)

地区社協部会では、敬老のイベントとして毎年80歳となる方へカステラをプレゼントしています。今年の該当者は110名。各地区の民生委員が自宅を訪れ、カステラを手渡しして長寿を祝いました。町会別の人数は、



豊東	35名	緑ヶ丘	22名
富里	20名	栄町	13名
豊西	13名	通一	4名
泉町	3名		

ふるさと協議会の行事予定

- 体育祭の競技出場、応援は各町会へお申し込みください。
- 文化祭に作品を出展される方も、各町会へお申し込みください。

第34回体育祭	10月18日	豊小学校校庭
第33回文化祭	10月31日 11月1日	近隣センター
おでんの会	10月21日	近隣センター
医療講演会 「アンチエイジング」	10月24日	近隣センター
離乳食教室	10月26日	近隣センター
野外炊飯、防災訓練	11月7日	近隣センター
歌声喫茶	11月18日	近隣センター
自転車の乗り方講習会	11月20日	近隣センター
介護する人にシクラメン贈呈	12月24日	
どんぐりすくすくクラブ (10月～28年3月)	第1(水)	三小こどもルーム
	第3(木) ※変更の場合あり	豊小こどもルーム

+++++ 編集後記 +++++

今年の夏も各町会の夏まつりがにぎやかに行われました。会場の広さや、催し物の内容も違いますが、それぞれに工夫をこらしており、夏の夜のひとときを彩っていました。今号では「わたしの町のおまつりの楽しさ」について、各町会の小学生に話してもらいました。「花火ができる」「太鼓が楽しみ」「たくさんの友達に会える」…。子供たちは夏休みの大きな楽しみとじていることがわかります。このあと体育祭、文化祭と協議会の秋のイベントが続きます。こちらは町会の垣根を越えて、他の町の人たちとも交流できるよい機会となります。子供たちはもちろん、大人の方もぜひ参加してください。

(広報部)